

令和4年度ゼロカーボン研究会

資料5

支え合う地域を作る 『コミュニティ・カーシェアリング』 ～取り組み紹介＋EV活用事例～

令和4年11月25日

一般社団法人日本カーシェアリング協会
代表理事 吉澤武彦

〒986-0813 宮城県石巻市駅前北通り一丁目5番23号

TEL : 0225-22-1453 FAX : 0225-24-8601

Mail : info@japan-csa.org URL : <http://www.japan-csa.org/>

日本カーシェアリング協会とは

東日本大震災をきっかけに活動を始めた
「寄付車」を活用して支え合いの仕組み
作る非営利組織

- ・2011年4月活動開始、同年7月に法人化
- ・所在地:宮城県石巻市(本部)
佐賀県武雄市(九州支部)
- ・スタッフ 22名
- ・活用車両台数 約300台



次の3つの活動を通して
その仕組みづくりを進めています。



『コミュニティ・カーシェアリング』の特徴①

その1

目的は支え合う地域づくり

～楽しいサークル活動として車を柔軟に活用～

一般的なカーシェアリングと最も違う点は、その目的が地域づくりにある点です。目的に賛同し、入会したご近所さん同士で車を柔軟に活用します。お出かけの企画など楽しいこともどんどん実践していきます。



乗り合いで買い物



旅行




外出支援



マイカーのように

気が付けば、移動に困っている人も助かっている。

『コミュニティ・カーシェアリング』の特徴②



予約係
(外出支援)

お出かけ係

お茶っこ係

その2

⇒この奥
ボランティア
ドライバー係

予約係
(買い物ツアー)

地域の人たちで運営する

～ルールと役割はおちゃっこで決める～

定期的におちゃっこ※1を開催し、利用のためのルールを調整します。また、運営のために必要な役割を分担し、自分たちで運営していただきます。

サロンを
定期開催

できる人が楽しみながらできる範囲で役割を担う

『コミュニティ・カーシェアリング』の特徴③

その3

経費実費を使った割合に 応じて分担する仕組み

お金を預けて**定期的に精算しながら運営**～

預け金のルールをつくり、集めたお金で運営し、
利用頻度に応じた経費実費の分担となるように、
定期的に精算しています。

全体の一割使用したから
費用を一割負担



預けたお金を定期的に精算しながら運営

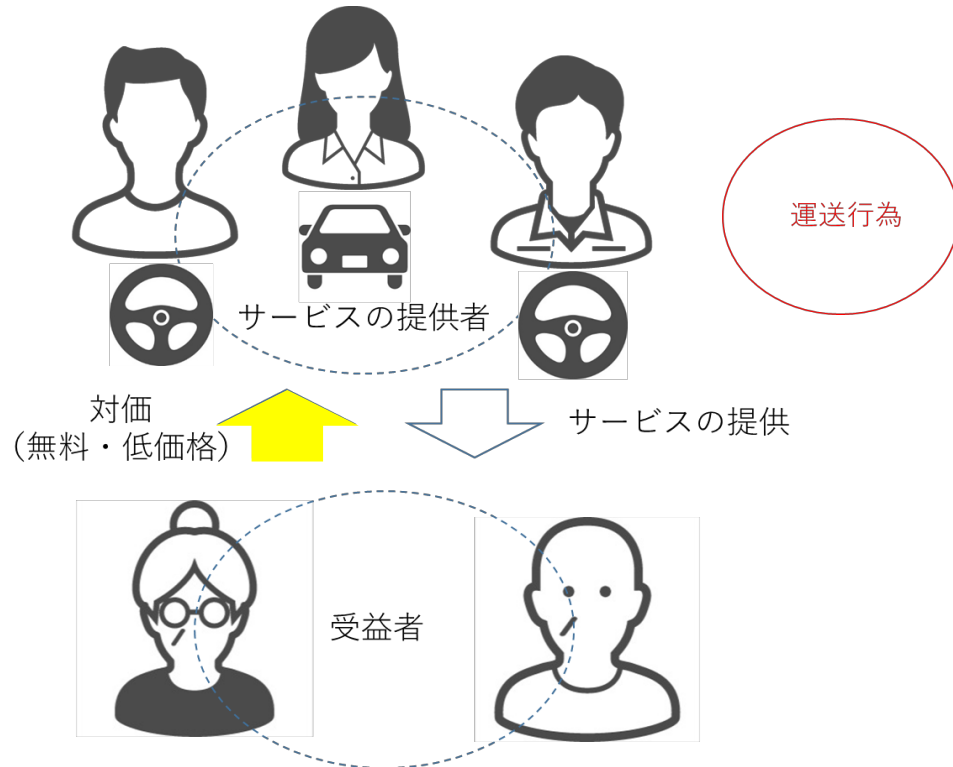
✿ ポイントは活動の組み合わせ



サロンとツアーと外出支援を組み合わせ、支え合う地域と継続的な活動を作ります。

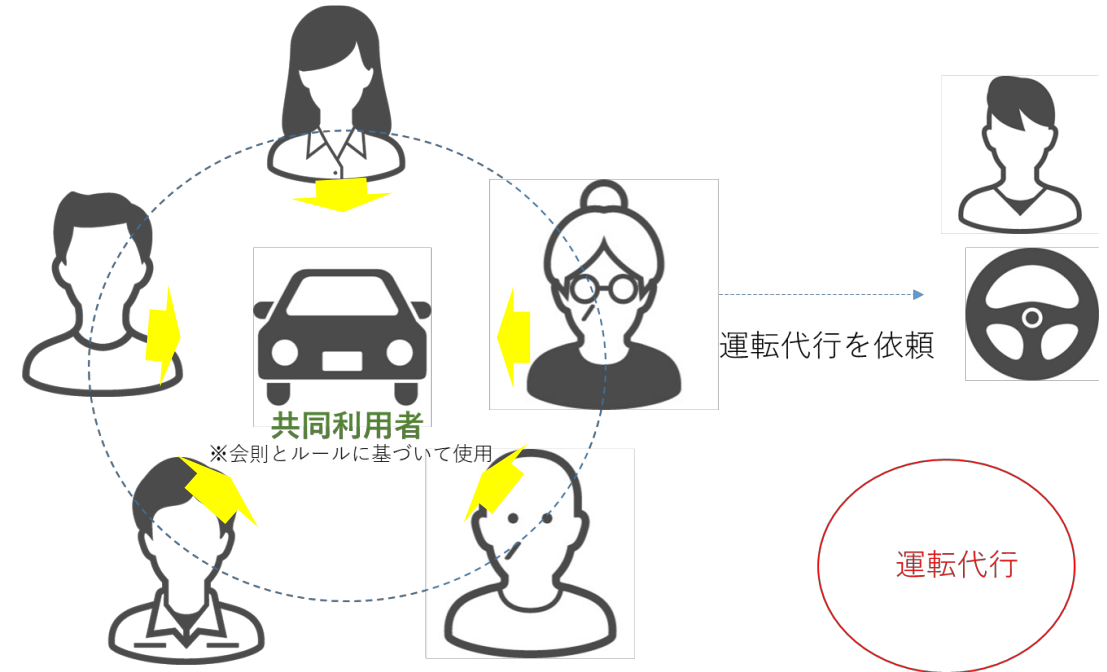
従来の移動支援（NPO送迎・ライドシェア）との違い

従来の移動支援



サービスの提供者が責任を持ち、対価を払う受益者が権利を持つ

コミュニティ・カーシェアリング



メンバーが同じ権利と責任を持つ互助活動
(会則とルールで定める)

スタッフもお客さんもない、利益も赤字もない、互助活動

『コミュニティ・カーシェアリング』の得意なこと、苦手なこと

得意なこと

- ・気軽に始められる

(公的な申請や調整が不要、車とルールの雛形がある、伴走的なア
ドバイスを得られる)

苦手なこと

- ・安定したサービスは提供できない

(ボランティアで運営)

交通機関の代替えではなく補足

日本カーシェアリング協会のサポート



導入サポート

- 地域調整
- 説明会
- テスト運行

運営サポート

- ルール調整
- 各種企画サポート
- 広報・総会実施補助



地域連携

- 行政
- 企業
- 教育機関等

地域連携（石巻市での事例）

企業が支える 「CSSスポンサー制度」

産

活動経費の一部をスポンサー企業がサポートする制度です。企業側は地域へ直接的な支援を行うことができ、また地域とのかかわりを深めることもできます。



▲車には応援企業のステッカーを貼っています

官

行政が支える 「地域力強化推進事業」

導入を希望する地域には協会スタッフを専門家として派遣し、導入後は経費の一部を一定期間助成しています。定期的に政策連携の検討会議も関係課を交えて行っています。



▲検討会議での様子

教育機関が支える 「学生整備プロジェクト」

学

毎年春と秋にタイヤやオイルなどの用品交換を授業の一環として実施していただいています。



石巻専修大学でのプロジェクトの様子▶

民

地域が支える 「地域サポーター制度」

会の運営に積極的な会員に対し、ちらしづくり、ファシリテーション研修などを行い、運営スキルを獲得していただきます。

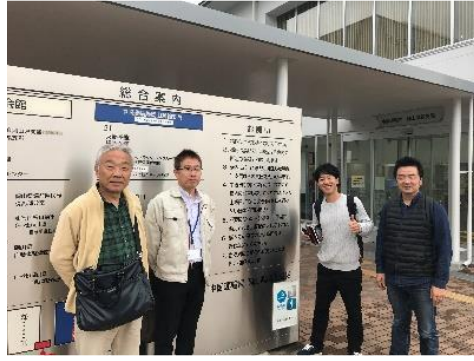
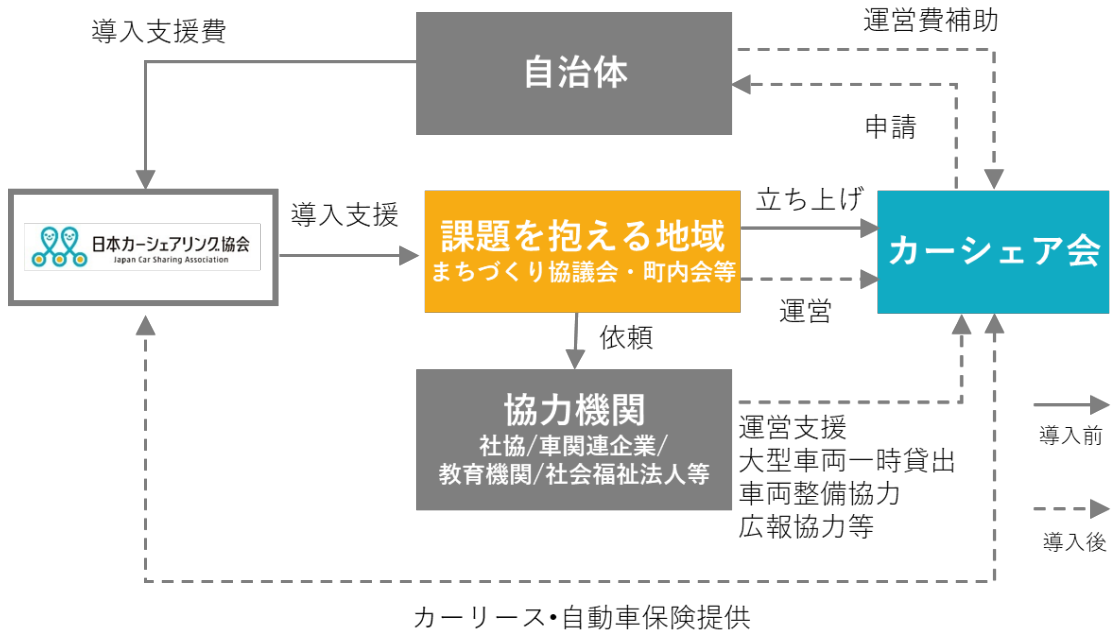


パソコン講座の様子▶

様々な地域へ展開

『コミュニティ・カーシェアリング』 導入サポートプログラム since2018~

<自治体依頼の場合の導入体制図>



公的機関へ同伴



説明会



テスト運行・ルール調整



カーシェア会発足

遠方でも伴走的にサポート（内閣府・総務省のアドバイザー制度利用可）

『コミュニティ・カーシェアリング』実践グループ紹介 ※2021年5月時点

石巻

不動町カーシェア会



新西前沼カーシェア会



門脇カーシェア会



吉野町カーシェア会



渡波カーシェア会



中央カーシェア会



新立野カーシェア会



三ツ股カーシェア会



山下南カーシェア会



大門町カーシェア会



石巻以外

永江ささえ愛カーシェアクラブ
(鳥取県米子市)



助け英田しちやろう会
(岡山県美作市)



林際カーシェア会
(宮城県南三陸町)



のってこや
(鳥取県大山町)



葛川イキイキサークル
(滋賀県大津市)



小鳥の森カーシェア会
(岡山県岡山市)



竹野カーシェア部会
(京都府京丹波町)



上北条ふれあい車会
(鳥取県倉吉市)



浪江カーシェアクラブ
(福島県浪江町)



小鴨カーシェアクラブ
(鳥取県倉吉市)



大山カーシェアリング会
(鳥取県大山町)

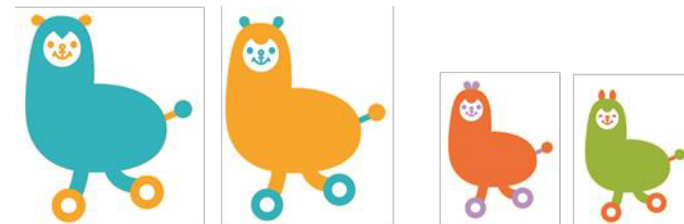


上浜田アッシー君
(岩手県陸前高田市)



22地域（別途テスト2地域）、約1,000名の方々（平均年齢75歳※石巻）が取り組む

EV活用事例 石巻市総合防災訓練の様子



電気自動車17台を吉野町復興公営住宅に集め、
「太陽光発電のみを活用した、電気自動車充電システム」で充電訓練を実施。
その後、市内16箇所の被災想定地区へ向かい、各地区で給電訓練を行った。



Su:ton & Ro:ly

@ishinomaki

ご清聴ありがとうございました。



日本カーシェアリング協会

Japan Car Sharing Association

<http://www.japan-csa.org/>